

かわにし事業ディスカッション事業調書

市民生活の視点	安全安心	政 策	安らく				
施 策	高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します						
事 業 名	高齢者生きがいづくり推進事業	所管部・課	健康福祉部長寿・保険室長寿・介護保険課				
テ ー マ	効果的な祝福事業のあり方	作成責任者	課長 山本 敏行				
現在までの 事業の沿革 (社会背景等)	事業開始年度： 昭和45年度 根拠法令等： 多年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿を祝福し、高齢者の生きがいを高めるとともに、市民に高齢者福祉への理解と関心を深めてもらい、福祉の増進を図ることを目的に100歳到達者及び最高齢者への訪問（平成13年度事業開始）や金婚（結婚50周年）・ダイヤモンド婚（結婚60周年）（平成15年度から対象に追加）夫婦祝福式典（昭和45年度事業開始）を実施しています。						
現在の事業概要	事業の目的	多年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿を祝福し、高齢者の生きがいを高めるとともに、市民に高齢者福祉への理解と関心を深めてもらい、福祉の増進を図ることを目的に実施しています。					
	対象者及び対象者数等	平成24年度実績 (1)100歳到達者及び最高齢者への訪問・・・川西市内に居住している100歳到達者と最高齢者が対象者 100歳到達者 31人 最高齢者 105歳 1人 (2)金婚・ダイヤモンド婚夫婦祝福式典・・・川西市内に居住している金婚夫婦（結婚50周年）とダイヤモンド婚夫婦（結婚60周年）あわせて先着100組が対象 祝福式典参加夫婦数 金婚夫婦（結婚50周年）84組 ダイヤモンド婚夫婦（結婚60周年）13組					
	事業の実施内容	(1)100歳到達者及び最高齢者への訪問・・・100歳到達者については100歳に到達月に職員が訪問し、祝い金1万円と市長からのメッセージを手渡している。最高齢者については毎年9月（高齢者福祉月間）に市長と職員が訪問し、祝い金1万円と市長からのメッセージを手渡している。 (2)金婚・ダイヤモンド婚夫婦祝福式典・・・毎年5月にホールを借りて（現在はアステホール）昼食の提供と記念品を市長より贈呈している。					
	実施手法 (該当するものに☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 指定管理又は業務委託 指定管理者・委託先の種類（市外郭団体 地域（地縁団体等） NPO法人 民間事業者 その他（ ）） <input type="checkbox"/> 補助・支援 補助対象団体等の種類（市外郭団体 地域（地縁団体等） NPO法人 その他（ ）） その他（ ）					
コスト	平成25年度（予算）		内 訳 等				
	事業費	1,218 千円	事業費の内 嘱託職員 人 千円 事業費の内 臨時職員 人 千円				
	職員人件費	0 千円	職員構成 概算人件費 従事職員数 （平均人件費×従事職員数）				
	合計	1,218 千円	従事職員 0 千円 正職員 人 再任用 人				
事業費と職員人件費の合計 (財源内訳)			財 源 内 訳 (千円)				
	年 度	総額(千円)	一般財源	国県支出金	地方債	特定財源 (都市計画税)	特定財源 (その他)
	H22(決算)	1,385	1,385				
	H23(決算)	1,235	1,235				
	H24(予算)	1,379	1,379				
	H25(予算)	1,218	1,218				

		節区分		予算額		説明等				
平成25年度 事業費内訳		報償費		708千円		高齢者祝福報償費、金婚・ダイヤモンド婚記念品など				
		需用費		335千円		消耗品費、金婚・ダイヤモンド婚昼食代				
		役務費		13千円		郵送料				
		使用料及び賃借料		162千円		金婚・ダイヤモンド婚ホール借上料など				
				千円						
				千円						
				千円						
				千円						
				千円						
				千円						
		合計		1,218千円						
現状の評価	活動指標	事業の成果を表わす数値		単位	H22年度	H23年度	H24年度			
		100歳到達者		人	62	47	31			
		最高齢者		歳	106	107	105			
		金婚夫婦祝福式典参加者		組	86	84	84			
		ダイヤモンド婚祝福式典参加者		組	11	13	13			
	関連施策評価指標	施策評価指標		単位	H22年度	H23年度	H24年度			
		高齢者が生きがいを持って生活できると感じている市民の割合		%	22.8	25.3	24.3			
	事業をめぐる課題		高齢者祝福事業については継続して行ってきたが、事業の目的に対してどれだけ効果があったのか検証することが非常に難しいという課題がある。							
	今後の方向性、見通し等		高齢者祝福事業については、今後、高齢者の増加や多様な生活様式がある中で事業の果たす役割や必要性を総合的に判断し、やり方について見直しを加えながら、以後の展開を見極めていく。							
比較参考例  (他自治体での実施事業例等)			伊丹市	宝塚市	西宮市	三田市	猪名川町			
100歳到達者及び最高齢者訪問			表彰状と記念品を手渡し	表彰状と記念品を手渡し及び郵送	表彰状と記念品を手渡し及び郵送	表彰状と記念品を手渡し及び郵送	表彰状と現金3万円を振込			
金婚・ダイヤモンド婚夫婦祝福式典			金婚夫婦のみ記念品贈呈	行っていない	行っていない	行っていない	行っていない			
その他特記事項										
事業推薦理由  (該当するものに☑を記入)		<input checked="" type="checkbox"/> 市民意見を取り入れることで業務課題の解消をめざす事業  市民を交えた検証が必要と思われる内部管理事業  民間委託・指定管理者制度・PFIの導入・民営化等(市民との協働を除く)の視点から業務の効率化・効果の向上が期待できる事業  上記には該当しないが取り上げてほしい事業		(理由) 市民目線でこの事業についての実施方法を検証していただきたいため。						